press release
2021 5 7
KUNSTARZT-362

KUNST ARZT
www.kunstarzt.com

森田 志宝 個展
MORITA Shiho solo exhibition

滴の放流
Release drops

KUNST ARZT では、2 年ぶり 2 度目となる
森田志宝の個展を開催します。
森田志宝は、糸に漆を塗り、
無数の漆玉が連なる“漆糸”を
空間に解き放つアーティストです。
表面張力という自然現象から生まれた漆玉は、
水滴のようなみずみずしさと美しさを内包し、
糸に生命感を与えます。
本展では、初の試みとなる透漆
（少し透けた茶色）を用いた
インスタレーションがメインとなります。
ご注目ください。
（KUNST ARZT 岡本光博）

沈黙のゆくえ
2017　漆、絹糸

経歴

1990 年　京都府出身
2013 年　富山大学芸術文化学部 卒業
2016 年　富山大学大学院 芸術文化学研究科 修了

個展
2014 年「clearunclear」（企画展 ARTBOX152）　西田美術館 / 富山
2017 年「こびりついた偶然」Ohshima Fine Art/ 東京
2019 年「漆の表面張力」KUNSTARZT/ 京都
「漆雫」穂上画廊 / 富山

グループ展
2013 年「recollection~ 素材と時間 ~」ギャラリー無量 / 富山
2015 年「Boundary line」ギャラリー無量 / 富山
2016 年「FINE ART/UNIVERSITY SELECTION 2016-2017」茨城県つくば美術館
2017 年「雲の上の展覧会」富山市民プラザ
2018 年「アートの今」アートハウスおやべ / 富山
2019 年「つつみ－みえるとみえない、作品展」富山市民プラザ

賞歴
2014 年「越中アートフェスタ 2014」立体部門　優秀賞、富山県文化振興財団賞
2015 年「神通峡美術展」インスタレーション部門　奨励賞
2016 年「高岡クラフトコンペティション 2016」漆奨励賞
富山大学修了制作「揺るやかな断絶」漆工奨学賞
2017 年「アートハウスおやべ現代造形展」大賞

2021 年 6 月 22 日（火）から 27 日（日）
12:00 から 18:00
会　場：KUNST ARZT
605-0033 京都東山区三条神宮道北東角 2F

問い合わせ　KUNST ARZT 代表 岡本光博　090-9697-3786　kunstarzt@gmail.com

森田 志宝 個展
MORITA Shiho solo exhibition

滴の放流
Release drops

KUNST ARZT
www.kunstarzt.com

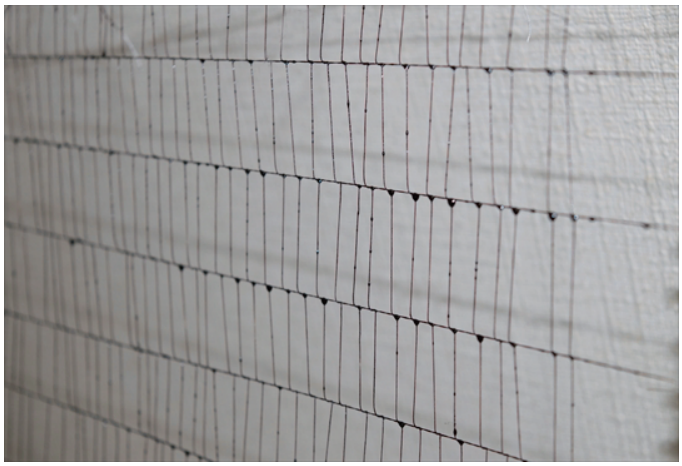
press release
2021 5 7
KUNSTARZT-362

展覧会コンセプト

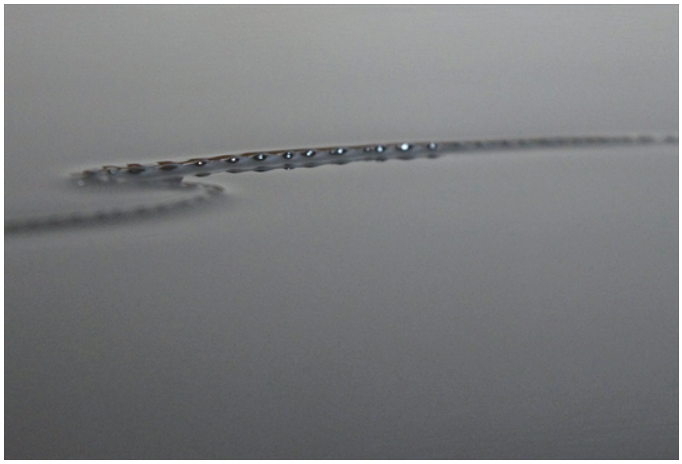
蜘蛛が網を張る時、まず空中に糸を流すところから始まるという。
流した糸が何処かに引っかかり棲み家や餌を得るための生命維持の機能を持った巣が形作られる。
時間が経つと巣は古くなり、破れて壊れている。蜘蛛は移動していなくなっている。
やがて壊れて無くなってしまうものを惜しいと思った。その日の情景を形に留めて残しておきたい。

アーティスト・ステートメント

雨の日に蜘蛛の巣に水滴がつく様子から着想を得る。
水滴はやがて蒸発して消えてしまうが、漆玉は固まりそのまま形を残す。
素材や自然現象と向き合うことで未だ知ることのない漆のかたちを探りたい。



適切な雨（仮）
2021
絹糸・漆
サイズ可変



脈
2020
絹糸・漆・木製パネル
h140mm × w170mm × d20mm
漆塗りによって覆い隠されてしまう木目を
再表出させる。
それは水面下で脈々と流れている。

clearunclear
2013
漆、絹糸
蜘蛛の巣の形から発想した。
この作品は光の当て方により、
糸が見える部分と見えない部分が生まれる。
一面から見るだけでは
全体を捉えきれないことを表現した。